

第2分野 美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち

基本方針2 循環型社会の 実現を図ります	年度	平成29年度
	責任部長	環境水道部長
	責任課長	環境課長
	責任課	環境課
	関係課	林務課・建設総務課

【施策名】	【主管課】	【関係課】
① 循環型社会の形成推進	環境課	—
② 再生可能エネルギーの活用推進	商工課	林務課・建設総務課
③		
④		
⑤		
⑥		

■基本方針に関連する昨今の社会経済情勢及び関連データ

◆全国・県・圏域等の状況及び関連データ	◆本市を取り巻く状況及び関連データ
<p>・国では、循環型社会形成推進基本法(平成12)に基づき、「循環型社会形成推進基本計画」を策定し、廃棄物の抑制、廃棄物の再利用、利用できない廃棄物の適正処分により実現される、循環型社会の構築を目指しています。</p> <p>・平成25年5月には「第三次循環型社会形成推進計画」が策定され、循環型社会の構築に向けた取組として、廃棄物等の発生の抑制と循環利用等を通じた埋立量の削減に加え、天然資源の投入量の一層の抑制とそれに伴う環境負荷の低減、有用金属のリサイクルによる資源確保、循環資源・バイオマス資源のエネルギー利用、安全・安心の確保など循環の質にも着目した取組を進めるべき段階に入ってきています。</p>	<p>市は一般廃棄物の収集・処理を実施しています。近年廃棄物の処理量は横ばいであり、市が推進している4R(リデュース、リフューズ、リユース、リサイクル)、廃棄物の分別の徹底や生ごみの堆肥化による減量等により、現状の処理量を維持している状況です。</p> <p>再生可能エネルギーについては、県営小水力発電事業の推進、民間主導型の小水力発電の事業化支援、木質バイオマスエネルギーの利用促進を進めている状況です。</p>

■基本方針に従い施策を進める上での重要課題

循環型社会を実現するためには、次の課題を解決していく必要があります。

- ・廃棄物の更なる減量とリサイクルの促進
- ・旧廃棄物処理施設の取り壊し、稼働中の処理施設の機器更新並びに統合の検討
- ・低価格で品質の安定した木質燃料供給の仕組みづくり
- ・小水力発電事業の地域住民への理解

■目指す姿及び指標

目指す姿(目標)				達成状況(各年度の最新値)						
資源を有効利用し、環境への負荷を減らすため、廃棄物の減量・適正処理、4Rの推進、再生可能エネルギーの導入により循環型社会の形成を目指します				現状値(H26)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(実績)	H32(実績)	目標値(H32)
				目指す成果(成果指標)	関連施策	単位	総合戦略			
▶市で処理するごみのリサイクル率の増加	①	%		14.8	14.3	12.5				16.0
▶小水力発電所の設置件数の増加	②	箇所(ストック)		1	2	3				4
▶木質燃料ストーブの設置件数の増加【再掲】	②	件(ストック)		157	232	260				450

■関連する市民アンケート調査の状況

	現状値(H26)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(実績)	H32(実績)	目標値(H32)
▶日ごろからごみの減量や分別に気をつけている市民の割合	91.3(H27)	—	—				95.0

■基本方針及び構成施策に関連する事務事業の状況について

【関連する事務事業の成果と課題】

①循環型社会の形成推進

【成果】

・生ごみ堆肥化のため、ダンボールコンポストの販売や生ごみ処理機購入への助成を実施した。また、環境教育を目的として市内2つの保育園を訪問し「生ごみから元気な野菜作り講習会」を実施した。

【課題】

・可燃ごみの収集量は、前年度から微増となっており、リサイクルの推進を一層図る必要がある。

②再生可能エネルギーの活用推進

【成果】

・民間主導型の小水力発電の事業化を目指し、小水力発電事業性評価調査を行い可能候補地の調査、現地測量、流量観測調査を実施した。また、阿多岐地区に阿多岐清流発電所が完成し、3月から稼働を開始した。

【課題】

・小水力発電導入に際しては、事業実施主体や導入支援、導入後の維持管理など課題がある。また、事業型小水力発電施設は施設建設費が高額となるため、事業実施主体の資金調達等に課題がある。

【決算データ及び構成事務事業の実施状況】

施策名	H28決算額(千円)	H29決算額(千円)	構成事務事業の実施状況(H29)				
			a	b	c	d	小計
① 循環型社会の形成推進	515,285	755,021	1	8	0	0	9
② 再生可能エネルギーの活用推進	55,403	20,125	1	1	0	0	2
③							0
④							0
小計	570,688	775,146	2	9	0	0	11

a: 順調に実施されており、成果が表れている事務事業

b: 概ね順調に実施されており、一定の成果が表れている事務事業

c: 概ね順調に実施されているものの、目指す成果が表れていない事務事業

d: 実施状況及び目指す成果ともに停滞している事務事業

■総合評価(基本方針に基づき目指す姿がどのような状況にあるか)

総合評価

B 目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

【成果指標を踏まえた評価及びその理由】

①循環型社会の形成推進

ごみのリサイクル率については減少したため、リサイクルの推進を一層図る必要がある。

②再生可能エネルギーの活用推進

小水力発電所の設置は順調に進んでいる。また、木質燃料ストーブの設置件数は順調に増加している。

【アンケート等市民の意見を踏まえた評価及びその理由】

■今後の展開

【今後の展開】

①循環型社会の形成推進

循環型社会の形成を図るために、資源の有効利用の徹底、再生可能エネルギーの活用を一層進めるための施策を実施する。

②再生可能エネルギーの活用推進

上記に加え、小水力発電の可能性調査事業の継続、小水力発電所の適正な運営・維持管理に努める。

【具体的な手法又は事務事業名等】

①循環型社会の形成推進

・ダンボールコンポストの販売や生ごみ処理機購入への助成、「生ごみから元気な野菜作り講習会」を引き続き実施する。
・ごみの分別について随時指導を実施し、また、4R(リデュース、リフューズ、リユース、リサイクル)の推進について、広報誌やホームページ、CATV等で周知啓発する。

②再生可能エネルギーの活用推進

・小水力発電の可能性調査事業はH29～H31の3年間の事業期間の内、水量調査を継続し事業性の有無の評価を行う。
・地域資源を活用した小水力発電所の運営を行い、発電による売電収入を経て、発電施設の維持管理及び土地改良施設等の維持管理を行う。

■関連する個別計画の有無

無